

カメラだより

刈谷関連のさまざまな映像をお届け！



▲市公式
YouTube チャンネル

オープンカフェ(カリアンブレラ)

みなくる広場(5月7日～6月5日の土日)



4月28日～6月7日に開催されたイベント「カリアンブレラ」。その1つとして、オープンカフェが開催されました。色鮮やかなアンブレラスカイとともに、キッチンカーの出店や壊れた傘を再利用するワークショップが催され、親子連れの人やカメラを持った人、通りがかった人などが足を止めて立ち寄り、たくさんの人でにぎわいました。

水災時にいち早く安心を届けるために

刈谷市役所(5月25日)



水災時の住民の早期生活再建実現を目的に、三井住友海上火災保険㈱と損害調査結果の提供及び利用に関する協定を締結しました。西三河でこの協定締結は初で、同社が行う被害調査で得られる情報や画像を保険契約者の合意の下、本市へ提供するものです。市長は「市民の負担軽減や早期生活再建を図る上で大きな支えになる」と同社へ感謝を述べました。

広報大使MICROさん オリパトーチ展示

刈谷ハイウェイオアシス オアシス館(6月4日)



MICROさんは、昨年行われたオリンピック聖火リレーでMCとして日本全国を巡り、パラリンピック聖火リレーでは刈谷市での採火式、そして県代表として集火式にも参加しました。「思いの詰まったトーチを皆さんにも見てほしい」とのMICROさんの思いから、刈谷ハイウェイオアシスのオアシス館に展示しました。トーチは真上から見ると、桜の花びらが開いているようにデザインされています。

放水、始め!

総合運動公園(6月12日)



3年ぶりに開催された操法競技会。市内21個分団の代表選手各5人が、放水により火点を倒すまでの時間と動作の確実性を競い合いました。ハイレベルな操法を披露する中、今大会では、第3分団(元刈谷地区)が見事優勝を勝ち取りました。どの分団も練習の成果を発揮し、自分たちが刈谷を守るという熱い気持ちが伝わる競技会になりました。